誰でもわかる　がん講座 110

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）

あまり耳慣れない言葉かもしれませんが、ACPの意味をご存じでしょうか？ACPとは、もしもの時（ご病気などで意思決定能力が低下した場合）に備えて、自分が望む医療やケアについて前もって自ら考え、周りの人（かかりつけ医や看護師、家族）と話し合い、共有する取り組みのことを言います。「人生会議」の愛称で呼ばれており、自分らしく生きるために、そして周りの人が困らないために重要なプロセスであると言えます。

例えば家族が「がん」を患ったとします。がんは急激に身体機能が低下し、症状が悪化することがあります。そうなるとご家族は（患者さんに対し）「この状況で、これからどうしたい？なんて聞けない」と感じ、お互いの気持ちを探り合い、率直なコミュニケーションがとれなくなってしまう場合があります。そうならないためにも、普段から医療者と大切な人（ご家族、信頼する人）とACPをしておくことをお勧めします。「どんなことを話し合っておけばいいのか分からない」という方は、がん相談支援センターや医療者にお気軽にご相談ください。

看護局　緩和ケア認定看護師　佐藤　由美子